

# 日本透析医会創立 30 周年記念事業実施報告

(公社) 日本透析医会

専務理事 宍戸寛治

公益社団法人日本透析医会は、平成 29 年 10 月 21 日（土）、経団連会館（東京都千代田区）において、創立 30 周年を記念して記念講演会および記念祝賀会を開催しました。

記念事業の実施に際しましては、前年から準備に入るべく、当会の事業運営に深く関与されている先生方\*1)に「創立 30 周年記念事業実行委員会」委員を委嘱し、全体的な構成と実施方法の検討をお願いしました。委員会は都合 3 回開催され、この 30 年を契機として会員の先生方に少しでも、いままでの事業への取組みについての振り返りと現状認識、将来展望についてご理解賜りたく、実際に長くその任に当たってこられた先生方にご講演をお願いし、記念講演会を開催することといたしました。経団連会館 2 階国際会議場で開催され 129 名のご参加をいただきました。ご出席ありがとうございました。



\*1) 実行委員会委員会

委員長：鈴木正司氏 副委員長：隈 博政氏

委員：石川 勲氏、大平整爾氏、佐藤壽伸氏、篠田俊雄氏、申 曾珠氏、杉崎弘章氏、  
原田孝司氏、渡邊有三氏

当日は、記念講演会に先立って秋澤会長から開会のご挨拶がありました。以下の文章は、当日配布された抄録集に掲載していた「日本透析医会創立 30 周年を迎えて」と題する会長からのご挨拶の文章です。

## 日本透析医会創立 30 周年を迎えて

日本透析医会創立の契機は昭和 53 年 12 月に行われた日本透析医会設立世話人会に遡ります。普及を遂げてきた我が国の透析医療の健全な発展と、透析医療が真に国民の福祉に貢献することを目的に、翌年都道府県透析医会連合会が設立され、故平澤由平先生が会長に就任されました。本連合会は昭和 60 年に日本透析医会と名称を変更し、初代会長に今年ご逝去された稲生綱政先生が就任され、昭和 62 年 7 月 21 日、社団法人として認可を受け、社団法人日本透析医会が正式に発足しました。今年はこの誕生から 30 年に当たり、今回の記念講演会を開催する運びとなりました。

透析医療はここ 30 年間長足の進歩を遂げ、我が国の透析患者は先進諸国中最良の生命予後を保つことが国際共同研究で明らかにされるなど、世界が高く評価する水準に成長しました。日本透析医会は設立の趣旨に沿い、「透析療法に関する調査・研究、普及、教育・研修事業、透析療法に関する研究助成事業、透析療法に関する安全対策事業」を柱に、第 2 代会長故平澤由平先生、第 3 代会長山崎親雄先生のご指導のもと、透析医療の向上に努力してきました。とくに災害医療対策については、災害時情報ネットワークを設立して情報交換と被災地支援に当たると同時に、日本臨床工学技士会、日本腎不全看護学会、日本血液浄化技術学会と協力して日本災害時透析医療協働支援チーム (JHAT) を結成し、いち早く被災地透析患者、透析施設、医療スタッフへの支援活動に当たるなど重点的な対応を行い、成果をあげてきました。しかし一方で、患者の高齢化と合併症の重症化から通院が困難であったり、安全な透析の実施に支障をきたす患者の増加、透析医療に取り組む若い医師や透析医療の真の担い手であるメディカルスタッフの不足、透析医療機関の閉鎖から透析医療が危機的状況に陥っている地域の増加など、透析医療を取り巻く環境は厳しさを増しています。とりわけ医療費の増大から透析医療を含む多くの分野で治療コストの切り下げや合理化が求められ、そうした状況下で如何に良質な透析医療を、必要とする患者に公平に提供し続けることができるのか、が職能団体である日本透析医会に求められている解決すべき課題です。



これから新たな 30 年、透析を含む腎不全医療の進歩・発展、良質な医療の提供を介した腎不全患者の予後と生活の質の向上に向けた透析医会の活動に、今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

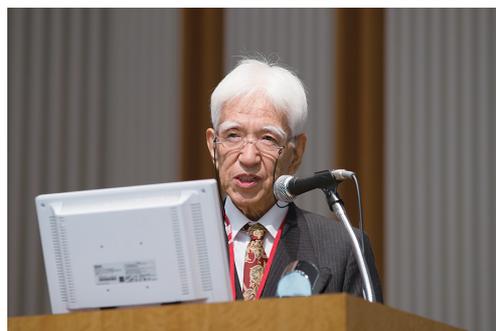
また、記念講演会の演目は、設立以来個別に委員会、部会を設け継続して実施してきた事業について取り上げました。総合司会を実行委員会委員長の鈴木正司先生にお願いして、時間の制約もあって以下の六演題となりました。記念講演会の各先生方の講演録は、本誌に掲載しておりますのでご覧いただきたいと思ます。

日本透析医会が行ってきた災害対策事業



隈 博政氏

日本透析医会と透析関連診療報酬



山崎 親雄氏

日本透析医会のマニュアル、  
ガイドライン作成事業



秋葉 隆氏

日本透析医会雑誌の発刊とその歩み



原田 孝司氏

研修委員会の活動  
—過去、現在、未来—



鈴木 正司氏

日本透析医会の今後の展望



秋澤 忠男氏

次いで会場を経団連ホールに移動して講演会からの参加者、また、行政や諸学会などからの来賓\*2)、当会理事・役員・会員の先生方を秋澤会長はじめ常任理事が迎えて盛大な記念祝賀会となりました。



\*2) 主な来賓

福田祐典氏 (厚生労働省健康局長)

羽鳥 裕氏 (公益社団法人日本医師会常任理事)

中元秀友氏 (一般社団法人日本透析医学会理事長)

馬場 享氏 (一般社団法人全国腎臓病協議会会長)

柏原直樹氏 (一般社団法人日本腎臓学会理事長)

当日の記念祝賀会の中で、24年間の長きに亘って当会の発展に多大なご尽力をいただいた山崎親雄先生(現名誉会長)の功労者表彰をさせていただきました。



また、歓談中に「日本透析医会の30年の歩み」として関係各方面にお願いして収集し、お名前の確認できた写真の数々を、実行委員長であり、雄弁な弁士でもある鈴木正司先生に編集をお願いし、紹介と解説をしていただきました。

日本透析医会設立以前から当会の発展にご尽力いただいた先生方には懐かしい一コマに、感慨もひとしおであったと推察いたします。



最後に、ご多忙の中ご講演いただいた先生方、記念祝賀会ご出席とご挨拶をいただいた先生方、記念講演会・記念祝賀会にご出席いただいた全ての方々、実行委員会の先生方、会場確保・運営等にご尽力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。